

第1号議案 2019年度 事業報告書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業期間

平成31年（2019年）4月1日 ～ 令和2年（2020年）3月31日

II 事業の成果

設立18年目として、ISO9001、ISO14001、ISO27001への対応、支援活動を中心に展開してきた。新規格での自己宣言型MSの検証監査も定着し、新たな賛助会員の増加も実現した。会員拡大、監査事業の推進が一定前進する状況にあり、統合規格の支援や、無料研修会も増え、活動の定着、拡大が見られた。特に、セミナー事業に関しては、企業研修が2回実現し、大きな成果と言える。しかし、昨年度実現した滋賀県環境保全協会の研修は、人事異動も関係して事業的な連携ができなかったが、緊密な連携は続いている。ISO有効活用センターの認識と知名度も拡大し、組織的な活動も前進しつつある。

会員拡大では、滋賀県下の賛助会員が1社実現し、前進した。運営体制等は、昨年と同様に2か月に1度の理事会が定期的実施できた。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

岡山の賛助会員企業で、社内のSDGs及びEMSの内部監査員研修が実施できた。しかし、例年実施してきた滋賀県環境保全協会と連携した有料の研修会は、保全協会の事務局長、専務理事の交代で実施できなかった。当NPO主催の有料研修会は14001、9001とも希望者少数とみて実施できなかった。無料研修会は、4月から隔月に5回実施し、毎回盛会であった。

(2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】2社より電話相談先があったが、実現はしなかった。

→QMSの構築相談が滋賀県内で1社あり、講師の派遣を行った。

・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】新規のQMS構築支援は、1社で実施し、講師派遣で対応した。この新規格構築は、認証よりは運用を実施する意図から構築の準備としてコンサル支援を行うことになり賛助会員に入会された。

(3) ISO 監査事業

1) 【内 容】第三者による内部監査代行（ISO14001、ISO9001）

【実施場所】滋賀県の精油プラント会社1社の定期監査の代行を継続実施した。東京の化粧品関係の賛助会員企業で内部監査を実施した。

2) 【内 容】自己宣言型ISOの認定及び認定更新

【実施場所】新規格移行後の自己宣言型運用の検証監査は無かった。

IV 社員総会の開催状況

2019年度総会は、2019年5月18日（土）に長岡京市バンビオ1番4F学習室3で開催、15名（正会員23名の内）が参加し、平成30年度事業報告書、事業活動計算書、財産目録、貸借対照表の承認事項を承認した。また、2019年度の事業計画書、予算書案について議論し、承認をした。

V 理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり、偶数月の適当な曜日を理事会時に打ち合わせにより定めて、以下の日程で実施した。

平成31年度

第1回	2019.04.20(金)	18:00~19:30	長岡京市バンビオ1番館	MR1
第2回	2019.06.15(土)	18:00~19:00	長岡京市バンビオ1番館	会議室1
第3回	2019.08.17(土)	17:30~18:30	長岡京市バンビオ1番館	MR1
第4回	2019.10.26(土)	17:30~18:30	長岡京市バンビオ1番館	MR2
第5回	2019.12.21(土)	17:30~18:00	長岡京市バンビオ1番館	会議室1
第6回	2020.02.25(火)	17:00~19:00	長岡京市バンビオ1番館	学習室2

第2号議案 2019年度 特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2019年4月 1日 から 2020年 3月31日 (単位 円)

科 目	決算	今年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	0	50,000	-50,000	入会者なし
賛助会員入会金収入	20,000	60,000	-40,000	(株)リードテクノ入会
2 寄付金			0	
会員寄付	0	0	0	
その他寄付		0		
3 事業収益				
セミナー事業	138,270	200,000	-61,730	トンボ内部監査員養成及びSDGsセミナー
コンサル事業		0	0	
監 査事業	238,540	450,000	-211,460	ミロット、堀川化成内部監査監査代行
4 その他収益				
受取利息	6	0		銀行利息
雑収入				
当期経常収益 合計(A)	396,816	760,000	-363,184	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	245,000	410,000	-165,000	
(2)その他経費				
会議費	11,977	50,000	-38,023	会議室代、セミナーテキスト原稿費含む
旅費交通費	59,270	70,000	-10,730	研修会、監査講師交通費
広報費	24,801	50,000	-25,199	さくらレンタルサーバー料、更新料
印刷費	0	10,000	-10,000	
事務費	9,853	20,000	-10,147	プリンターインキ代、用紙代
通信費	0	10,000	-10,000	
支払手数料等	2,907	5,000	-2,093	振込手数料、印紙代等含む
その他経費 計	108,808	215,000	-106,192	
事業費 計	353,808	625,000	-271,192	
2 管理費				
(1)人件費	0	10,000	-10,000	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	10,240	20,000	-9,760	会場費 5150円 お茶代等5090円
旅費交通費	17,940	40,000	-22,060	理事会交通費(改訂後上限3000円)
印刷費		10,000	-10,000	
事務費		10,000	-10,000	
通信費		10,000	-10,000	
支払手数料	0	5,000	-5,000	
その他経費 計	28,180	95,000		
(3) 予備費	0	30,000	-30,000	
管理費 計	28,180	135,000		
当期経常費用 合計(B)	381,988	760,000	-378,012	
当期経常増減額(A) - (B) = (E)	14,828	0		
III 経常外収益				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)		0		
IV 経常外費用				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)		0		
当期経常増減額(E) + (C) - (D)	14,828	0		
前期繰越正味財産額	701,201	701,201		
次期繰越正味財産額	716,029	701,201		

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2020年 3月 31日現在

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	716,029		
普通預金			
未収金	0		
流動資産合計		716,029	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			716,029
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
3 正味財産の部			
前期正味財産		701,201	
当期正味財産増加額		14,828	
正味財産合計			716,029
負債及び正味財産合計			716,029

第3号議案 2020年度事業計画書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

I 事業の実施方針

- ・ 2020年度は、新元号の2年目になるが、ISO14001, ISO9001の新規格移行も一段落し、運用を確実にする支援が求められる。また、監査のための指針ISO19011(2018年版)も改訂され、新規格の本格的な運用が期待される。新規格の定着と内部監査員のスキルアップの事業を推進することを目指す。
- ・ 事業活動としては、ISO19011も含め新規格の運用に関連したセミナーやコンサルに力を集中し、同時に自己宣言型ISOの検証監査を拡大普及する。昨年度と同様に省エネ支援を始め、企業の多様な要望に応える支援内容を進める。
- ・ ISOの認証済企業へのアプローチを滋賀県環境保全協会と連携し、滋賀県での運用支援を強化する。内部監査員の新規格スキルアップ研修会の実施、自己宣言型ISOの検証やISOのスリム化、有効活用による効果の向上を目指す。
- ・ また、ISO関連分野として、情報セキュリティー、SDGsやエネルギーマネジメントシステムの普及、省エネ活動、節電事業や災害対応等の事業継続MSに注力して普及を図る。
- ・ 広報的な協力に関して公的な団体、組織との連携を強化する。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

【内 容】ISOの運用セミナー、内部監査員養成セミナー（1日コース）

【実施日時】随時実施予定（概ね有料2回 無料6回）

【事業の対象者】ISO取得済企業のISO担当者、ISOの構築に興味のある方

【収 入】20万円（10000円×10人×2回）

【支 出】講師料14万円（有料8万円 無料6万円） 交通費2万円

印刷費1万円 会議費3万円 計20万円

なお、滋賀県環境保全協会主催のセミナーへは、講師派遣とテキストの提供で協力、連携する。

(2) コンサル事業

- ・ 無料ISO相談、無料省エネ診断等

【内 容】移行・運用の無料相談

【実施場所】電話相談、企業先訪問

【事業の対象者、方法】新規格移行の組織、団体：電話、メール相談

【収 入】0円

【支 出】交通費2万円

ISO相談、省エネ相談は、無料とし、省エネ診断等の交通費は、相談企業の実費負担とする。

- ・ 企業支援

【内 容】ISOコンサル（移行更新、スリム化、有効活用）

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】0円

【支 出】0円 コンサル事業は、原則会員に紹介し、会員個人の責任で実施

(3) ISO 監査事業

【内 容】第三者による自己宣言型 I S O 認定は 1 社目標、内部監査及び内部監査の代行は、3 社

【実施場所】要構築希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】要内部監査希望団体

【収 入】10 万円 (1 日/回) × 4 社 = 40 万円 (内部監査 3 社、自己宣言 1 社)
認定書発行費用 5 万円 × 1 社 = 5 万円

合計 45 万円

【支 出】講師料 1 社 6 万円(1 日/回) × 4 社 = 24 万円

成約謝金 2 万円(新規、広報費) 会議費 1 万円 交通費 2 万円

事務費 2 万円 通信費 1 万円

認定維持内部監査チェック人件費 1 万 × 2 社 = 2 万円

合計 34 万円

(4) 情報発信・広報事業

【内 容】HP を更新し、情報発信に努める。メールによる内部監査代行の宣伝
自己宣言型認定監査の普及、ISO 改訂情報を P R

【収 入】0 円

【支 出】5 万円 (レンタルサーバー使用料等 1 万円 HP 更新メンテ費 2 万円
会議費 1 万円 交通費 1 万円)

第4号議案 2020年度 特定非営利活動に係る事業活動予算書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

2020年 4月 1日から 2021年 3月31日 (単位 円)

科 目	予算	前年度予算	差違	備考
I 経常収益				
1 入会金				
正会員入会金収入	50,000	50,000	0	5人見込み
賛助会員入会金収入	60,000	60,000	0	3社見込み
2 寄付金				
会員寄付	0	0	0	
その他寄付	0	0	0	
3 事業収益				
セミナー事業	200,000	200,000	0	2回予定、20人見込み
コンサル事業	0	0	0	0 会員に委託
監査事業	450,000	450,000	0	0 4社見込み
4 その他収益				
受取利息	0	0	0	
当期経常収益 合計(A)	760,000	760,000	0	
II 経常費用				
1 事業費				
(1)人件費	400,000	410,000	-10,000	セミナー、監査代行講師
(2)その他経費				
会議費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	70,000	70,000	0	0 営業旅費を含む
広報費	50,000	50,000	0	0 レンタルサーバー料等
印刷費	10,000	10,000	0	0 HP更新メンテ費料
事務費	20,000	20,000	0	0 成約謝金(2万円)
通信費	10,000	10,000	0	
支払手数料等	5,000	5,000	0	0 印紙代含む
その他経費 計	215,000	215,000	0	
事業費 計	615,000	625,000	-10,000	
2 管理費				
(1)人件費	0	10,000	-10,000	事務アルバイト費等
(2)その他経費				
会議費	15,000	20,000	-5,000	会場費、お茶代等
旅費交通費	40,000	40,000	0	0 理事会交通費
印刷費	5,000	10,000	-5,000	総会等資料コピー代
事務費	5,000	10,000	-5,000	事務用品、封筒
通信費	5,000	10,000	-5,000	
支払手数料等	5,000	5,000	0	
その他経費 計	75,000	95,000	-20,000	
(3) 予備費	70,000	30,000	40,000	
管理費 計	145,000	135,000	10,000	
当期経常費用 合計(B)	760,000	760,000	0	
当期経常増減額(A)-(B)=(E)	0	0	0	
III 経常外収益				
固定資産売却益等				
経常外収益 合計(C)	0			
IV 経常外費用				
固定資産売却損等				
経常外費用 合計(D)	0			
当期経常増減額(E)+(C)-(D)	0	0		
前期繰越正味財産額	716,029	701,201		
次期繰越正味財産額	716,029	701,201		

第5号議案 役員改選の件

副理事長	小幡 範雄	再任
理事	竹内 肇	再任
副理事長	中野 孝	再任
専務理事	西田 一雄	再任
理事	橋本 温子	再任
理事	堀田 義久	再任
理事	正木 準	再任
理事	宮本 武敏	再任
理事長	若井郁次郎	再任
監事	吉川 了平	再任

第6号議案 定款変更の件

2020年6月から当NPO法人の事務所を西京区から東山区に移転し、今後の継続的な運営が維持できるように定款の改正を行う。主として京都市内での移転が今後定款変更を要しないように改訂する。変更する条項は、第2条である。

<現在の定款>	<変更後の定款>
<p>第2条 事務所 本法人は主たる事務所を京都府京都市西京区大原野上里北野町563番地45(株)地域環境システム研究所内に置く。</p>	<p>第2条 事務所 本法人は主たる事務所を京都府京都市内に置く。</p>